

2次審査表【プレゼンテーション】

審査項目及び審査基準

●【重要項目】 ①来庁者・職員・地域住民が利用しやすい食事提供機能並びに、多様な交流または利便施設を提供すること。 ②庁舎内のにぎわい創出・待ち時間の有効活用を図ること。 ③区の関係部署と連携した、戦略的な魅力発信施策を提案すること。 ④長期間にわたり安定的かつ効果的に運営するための体制を構築し、継続的に改善を続ける手法を確立すること。				
NO.	項目		審査基準	配点
1	運営方針 【重要項目①④】	30	板橋区本庁舎食堂跡地の特性・求められている役割を理解しそれに基づいた店舗の基本方針が明記されているか。	5
			オープンまでに従業員の確保や什器等の準備が計画的に進められているかどうか。また、事業者撤退リスクの最小化に伴う長期運営を前提とした事業計画を提案できるか。	5
			店舗の業種を複数提案することが可能か。	4
			使用面積は何㎡か	5
			厨房機器はどの程度使用するか	5
			改修計画（イス・テーブル等、内装、動線改善）	6
2	商品・サービスの構成	21	販売を予定している主な商品の構成やサービスの種類。	5
			看板メニュー・提供メニューの内容及び価格等が、時間帯及び利用者のニーズに沿っているか。	5
			来庁者や職員のニーズに合致した強みや優れた提案があるか。	5
			モバイルオーダー、キャッシュレス（いたPay含む）対応は可能か。	4
			別のフロアなどでの出張販売は可能か。	2
3	利便性向上に向けた取り組み	8	混雑する時間帯（ランチタイム）以外の運営について優れた提案があるか。	3
			利用者の動線も踏まえ、施設を有効に活用したレイアウトになっているか。	5
4	魅力発信の取り組み 【重要項目③】	6	イベント等の実施に伴い、区に協力できる体制であるか。	3
			区の情報発信について優れた提案はあるか。 （「絵本のまち板橋」に寄り添う提案ができるか）	3
5	地域との共生	7	近隣地域との良好な関係構築に向けた取り組みについて ①町会・商店会への加入・協賛会費の支払い（令和6年度費用約3万円）が可能かどうか。 ②地域におけるイベント等への人的支援が可能かどうか。	2
			区の物的資源の活用に関する取り組みについて 区内で栽培された農産物、作成された物品等の仕入れ・販売を行うことができるか。	5

別表2(第6条関係)

●雇用関係				
6	雇用関係	5	区民雇用の取り組みについて ①従業員の配置体制、指揮命令系統 ②従業員の勤務体制及び労働条件 ③従業員の教育方針及び体制	5
●安全管理・食品衛生・環境への配慮				
7	安全管理・食品衛生・環境配慮	8	安全管理・食品衛生・環境配慮等について ①防災、防犯、事故防止等に備えてマニュアルや訓練計画が整備されているか。 ②災害時に区へ協力等ができるか。 ③食品の品質や衛生管理の体制は適切なものか。 ④廃棄物の回収及び処理方法は適切か。 ⑤事業者として、廃物の減量や省エネルギーに積極的に取り組んでいるか。	8
●総合評価				
8	プレゼンテーション	5	プレゼンテーション総合評価 ・質疑に的確に応えられ、安心して運営を任せられるか。 ・提案内容が現実的に実施することが可能かどうか。 ・提案内容を熱意をもって取り組む姿勢がうかがわれるか。 ・区からの要求はないが、事業実施にあたり、これまでのノウハウを活かした独自性のあるサービスが期待できる	5
○経営状況・行政財産使用料（事務局採点）				
9	経営状況	5	経営状況 自己資本比率 50%～ : 5点 自己資本比率 40%～49% : 4点 自己資本比率 30%～39% : 3点 自己資本比率 20%～29% : 2点 自己資本比率 10%～19% : 1点 自己資本比率 10%未満 : 0点	5
○業務実績（事務局採点）				
10	業務実績	5	最近10年以内での地方公共団体や企業、大学等において、食堂運営を3年以上継続して行った業務実績があるか（同一店舗はカウントしない）。 5件以上 : 5点 4件 : 4点 3件 : 3点 2件 : 2点 1件 : 1点 0件 : 0点	5
合計点				100

【重要項目順位 合計得点が同点の場合は重要項目の評価点が高い順に順位とする】

※最低基準点について（実施要領より）

選定委員会各委員の持ち点（90点）に加えて事務局採点分（10点）を合算した値（100点）の5割を最低基準点とし、各委員の評価点を合算した値が最も高い者を提案採用者として採用する。ただし、評価点が満点の2分の1を超えないときは提案採用者とししないものとする。